

# CLILを活用した国際基準の (内容言語統合学習) 学習プログラム開発講座

CLILとは、歴史や生物などの教科単元や科目横断的な内容を、英語によるアクティブラーニングで学ぶ教育方法です。21世紀のヨーロッパ各国で広く普及し、日本でも急速に実践が広まっています。

その効用には、教科知識の活用、自然な英語使用、汎用能力の育成などがあります。

この講座では、CLILの理念、原理、実践を包括的に扱います。具体的には、まずは講義でCLILの教育・学習理論やプログラム開発・評価の方法論をまとめ、次いで映像や資料を用いて国内外のCLILの実践例を紹介し、最後に全教科に共通する授業指導や学習評価の技法をワークショップ形式で身につけます。

3/12  
Saturday  
14:00~16:30

## 配信ツール

Zoom

## 費用

11,000(税込)円/1人

## コンテンツ

- CLILの基本原則、指導技法、教材作成、評価方法に関する講演
- CLILのプログラム開発と評価の説明
- CLILのプログラム例、教材例、授業例、研修例の紹介
- CLILの授業指導、学習評価の技法に関するワークショップ

ブレイクアウトルームを利用したワークがございますので、カメラ・マイク機器を使用できる状態でご受講ください。  
※パソコンでの参加を推奨します。

## 講師

池田 真氏

上智大学文学部英文学科教授  
日本CLIL教育学会副会長

早稲田大学政治経済学部卒業、ロンドン大学キングズカレッジ大学院英語教育・応用言語学専攻修了。現在、上智大学文学部英文学科教授・学事センター長、日本CLIL教育学会副会長。主な著書に、『Soft CLIL and English Language Teaching (Routledge, 共著)』、『CLIL 内容言語統合型学習、第3巻授業と教材』(上智大学出版・共著)、『歴史社会言語学入門』(大修館書店・共著)、New Horizon English Course (文部科学省中学校外国語科用検定教科書・東京書籍・共著)など。2015～16年にロンドン大学キングズカレッジ客員研究員として、同大学の他、ストックホルム大学、ウィーン大学、マドリッド自治大学などで講義。

